

報道関係者各位

相模大野駅西側地区
第一種市街地再開発事業に事業参画
～大型複合専門店施設と都市型タワーマンションを計画～

野村不動産株式会社(東京都新宿区、取締役社長:鈴木弘久)は、相模大野駅西側地区市街地再開発準備組合(神奈川県相模原市、理事長:越智清志)が推進する相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業に参加組合員として事業参画することを決定し、本日、組合参加予約契約を締結しました。

当事業は、小田急線「相模大野駅」駅前広場と直結された利便性の高い立地において進められている事業施行区域 3.1ha の市街地再開発事業です。伊勢丹相模原店・グリーンホール相模大野と小田急駅ビルという二つの既存の核に加え、西側地区に三つ目の核をつくることで、回遊性のある、魅力ある街づくりを目指し、計画が進められています。当社では、当事業における、分譲住宅、大型複合専門店、商業駐車場の保留床を取得するため参加組合員として事業参画します。

分譲住宅においては、当社が展開している「プラウド」のノウハウを結集し、相模大野の新たなランドマークとなる25階建、約290戸(当社分譲分約260戸)の都市型タワーマンションを計画します。

また、大型複合専門店は、近隣にお住まいの皆様のご日常生活支援施設を基本としながらも、エンターテインメント性の高い専門性の高い大型テナントを導入した魅力ある商業施設を計画しています。駅前のペDESTリアンデッキで接続される2階には、「デイリーマーケット」を配し、賑わいを演出、最上階には、9つのスクリーンを備えたシネマコンプレックスを導入します。

当社は、今後、再開発準備組合、関係各位と協議をすすめ、野村不動産グループの総力をあげて、相模大野駅周辺がさらに魅力ある街となるための一翼を担いたいと考えております。

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社

広報部(片山・藤田)

TEL03-3348-7805

<相模大野駅西側地区第一種市街地再開発(概要)>

事業名称: 相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業

所在地: 相模大野3丁目2番~7番地内

交通: 小田急「相模大野」駅徒歩2分

当事業周辺は、これまで、土地区画整理事業や商業地形成事業、基地跡地の整備事業などにより、都市基盤の整備と伊勢丹・グリーンホール相模大野や小田急駅ビルなど商業・文化機能等の集積が進められてきました。当再開発事業によって新たな魅力づくりの核が形成されることで、さらに賑わいと回遊性のあるまちづくりが図られるものと期待されています。

当事業中央部の1階と2階に歩行者専用の自由通路(2階部分で駅前のペDESTリアンデッキと接続)が整備され、自由通路の北側には、大型複合専門店(1階から4階が専門店/5階・6階がシネマコンプレックス)、地元商業施設、自動車駐車場(公共駐車場約500台/商業駐車場約200台)、自転車駐車場(公共駐輪場約3000台/商業駐輪場約1200台)、南側には、地元商業施設、公共公益施設、分譲住宅(5階から25階・約290戸・非分譲住戸を含む)、賃貸住宅(6階から24階・約150戸)が建設されます。

<位置図>



<当事業イメージパース>



<自由通路イメージパース>

